

家族の いいなを カタチに

日本 No.1 グループの
スケールメリットで実現する
魅力ある価格とデザイン、
ハイグレードなクオリティ。

TACTHOME





意匠性を優先しながら街に溶け込む

シンプルな外観デザイン





お客様の声を集めて厳選された

人気設備仕様で
コーディネート



グラファールは、住宅性能表示制度の6項目において最高等級を全棟取得

お客様が質の良い住宅を安心して取得出来るよう作られた「住宅性能表示制度」を積極的に取り入れ、お客様に安心・安全をご提供したいと考えています。



住宅性能表示制度とは「住まいの通信簿」

国が定めた第三者である「登録住宅性能評価機関」が共通の基準で評価する住宅性能表示制度に基づき発行する評価書。住宅性能評価書は、「地震などに対する強さ」「劣化軽減の対策」「環境性能」など、性能表示制度6項目で最高等級を取得しております。

住宅性能評価書ダブル取得



第三者機関による厳重なチェックを受け発行される「設計住宅性能評価書」と「建設住宅性能評価書」2つの住宅性能評価書を取得することで、決して表面上だけではなく、現場の施工状況も含めた品質を確保し、それを保証することで、お客様への安心・安全を提供できると考えています。

6項目最高等級仕様。それは安心と安全を守る住まい。

耐震等級
構造躯体の倒壊等防止

耐震等級
最高等級
3

数百年に一度程度発生する地震の1.5倍の力に対して倒壊・崩壊等しない程度。

耐震等級
構造躯体の損傷防止

耐震等級
最高等級
3

数十年に一度発生する地震の1.5倍の力に対して損傷を生じない程度。

耐風等級
構造躯体の倒壊等防止

耐風等級
最高等級
2

500年に一度程度発生する暴風力の1.2倍の力に対して倒壊・崩壊しない程度。

ホルムアルデヒド対策等級

最高等級
3

F☆☆☆☆等級以上を使用。

劣化対策等級

劣化対策等級
最高等級
3

75～90年まで、大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長する対策が講じられている。

維持管理対策等級

維持管理対策等級
最高等級
3

基本的な配管が躯体に埋め込まれていない。点検口がもうけられている。



資産価値やランニングコスト面でも魅力

2つの性能評価を受けたグラファールは、資産価値としても将来にわたり安心できる住まいです。将来販売することになっても国が定めた機関が評価をしているので、その価値が正当に評価されます。また、耐震から断熱、劣化対策や維持管理など6項目が最高等級なので、ランニングコストにも期待でき長く安心して暮らせる住まいです。

※掲載の写真はイメージです。

“地震に強い家”

オリジナル工法 「I.D.S工法」

I.D.S工法は「木造軸組ーパネル工法」。
木造軸組工法の設計自由度と構造用合板パネル工法の耐震性の高さを併せもった工法です。
外壁、1・2階床組、屋根を構造用合板で一体化させ、高い耐震性を実現させています。



優れた耐久性、 設計の“自由度”

グラファールでは、耐久性を高めた構造で約3世代(75～90年)にわたり、永く住み続けていただくことを目標にしています。そのためには、家族の成長に合わせた変化に対応しなくてはなりません。I.D.S工法は、自由な間取りを実現するSI(スケルトンインフィル)住宅にも対応し、ライフスタイルの変化に合わせて間取りの変更や設備メンテナンスが簡単にできます。

最も重視されるのは“耐震性”

間取りの良さや断熱性・省エネルギー性など、我が家に求める条件は多岐にわたります。その中で最も重視されているのは“耐震性”です。地震に負けず安心して暮らせる住まいを求めるお客様の望みに私たちは応えたいと考え、構造用合板を使ったパネル工法の耐震性の高さを併せ持ったオリジナルのI.D.S工法を採用しました。

日本で初めて国土交通大臣認定を取得した

「オリジナル耐力パネル」

平成12年の建築基準法改正後、構造耐力上主要な軸組等について、日本で初めて国土交通大臣認定を取得。国が定める最高強度である「壁倍率5.0」の性能があると認められています。地震や風の揺れにも強い、オリジナル耐力パネルです。

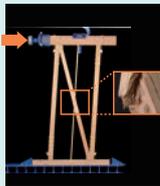


国が定める
最高強度
壁倍率 **5.0** 倍

※規定上、これを超える強さを持つ「耐力パネル」は世の中にありません。

「横からの圧力試験」

筋交い
(一般的な
木造住宅)



柱が破損し、
倒壊の
恐れがある。

オリジナル
耐力パネル



損傷もなく、
建物を
守ります。

損傷
なし

柱と基礎を固定するオリジナル金物

「TロックII※1」

柱固定金物のなかでも非常に高い性能を持つ「ホールダウン金物(HD20)」の約2倍の強度があり、短期基準接合耐力40.3kNの評価を受けています。台風などの強風に耐えられる耐久性を保ちます。

※1 4件の特許を取得 特許第3714902号(2005年9月2日取得)他3件



約 **2** 倍の強度 ※2

※2 ホールダウン金物の短期基準接合耐力10～25kNに比べ

公的試験機関による「引抜試験」

ホールダウン
金物



金物が壊れ、
柱がほとんど
抜けてしまう。

TロックII



金物が歪みは
するが、柱は
固定されたまま。

阪神大震災、新潟県中越地震、
ロサンゼルス地震、想定関東地震と
同じ状況での耐震実験でも

I.D.S 工法では
損傷がありませんでした。

一般的な
在来工法

倒壊



グラファール

損傷なし



